第１回 府中市総合計画市民検討会議開催結果（要旨）

■開催日時　令和２年８月８日（土）　午前１０時～午前１１時４５分
■開催場所　府中市役所北庁舎３階第１・２・３会議室
■出 席 者　５５名（公募市民３６名、職員１９名）
■欠 席 者　２名（公募市民１名、職員１名）
■出席説明員等
高野市長、大井政策課長、吉本政策課長補佐、岡村政策課副主幹兼行政経営担当副主幹兼総合計画担当副主幹、桜田政策課行政経営担当理事兼総合計画担当理事、大木政策課主査、橋本政策課主任
合同会社 Active Learners 山ノ内氏、米元氏
■傍聴者　※第１回会議のため、受付なし
■議事日程
１　依頼状等の伝達
２　市長あいさつ
３　説明事項
　会議の公開について
４　グループワーク
５　その他

■内容

1　依頼状等の伝達

依頼状（公募市民）及び発令通知書（職員）の伝達を机上配付にて行った。

2　市長あいさつ

皆様、こんにちは。府中市長の高野律雄でございます。

このたびは、府中市総合計画市民検討会議にご参加をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、ご案内のとおり、総合計画とは、市の将来の長期的な展望のもとに、市政のあらゆる分野を対象としたまちづくりの指針であります。

現在の第６次府中市総合計画では、「みんなで創る　笑顔あふれる　住みよいまち」を実現するため、市民の皆様との協働によるまちづくりに全力を尽くしておりまして、皆様方のご協力と温かいご指導により、着実に歩みを進めることができているものと捉えております。

今回皆様にご検討をお願いいたしますのは、令和４年度を初年度とする次期総合計画であります。今、日本だけでなく、世界の各国において新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、この「見えない敵」との闘いを続けておりますが、このような状況下においても、社会経済情勢等の動向を注視しつつ、市民の皆様の声を丁寧に集めてニーズを見極めながら、このまちに住むことを誇りに思えるような、府中市ならではの計画にできればと考えております。

なお、会議では本市の職員も参加をさせていただきます。皆様と本市職員が同じテーブルで忌憚なく意見交換を行いながら、テーマ別に今後の市政に対するご意見、ご提案をいただくことになります。

大変お忙しいところとは存じますが、この新しい総合計画の策定に当たり、皆様のお力添えを賜りますよう、心からお願いを申しあげまして、私からのご挨拶とさせていただきます。

3　説明事項

会議の公開については、府中市情報公開条例に基づき、市が行う各種会議は公開を原則としていること、傍聴人の取扱いや会議開催結果の公表方法等について説明した。

本会議においても公開すること、傍聴人の取扱いは基本的に資料１－１の通りとすること、会議開催結果は、部会ごとの内容がわかる形式による会議録（要点記録）とすることについて了承された。

４　グループワーク

ファシリテーターの進行により、「挨拶・主旨説明」「1 分間自己紹介」「グランドルールの共有」等を行った後、市より資料１－４の説明を行った。質疑応答は次のとおり。

○メンバー　２０２２年度からの新しい計画ということで、それまで１年半ほどあるが、この市民検討会議が１０月末で終わった後、意思決定のプロセスなど、どのようなスケジュールで進めていくのか。

○事務局　参考資料のとおり、市民検討会議と並行して総合計画審議会を立ち上げており、最終的には令和３年度の９月に答申をいただく予定となっている。この市民検討会議の検討結果は、審議会に参考資料として提出するほか、各担当部課にもフィードバックし、総合計画素案を検討する中で活用していく。

○メンバー　市民検討会議で、新たな法律に基づいた施策を検討するに当たり、的確にその法律を理解して会議のメンバーに説明ができるか。市民検討会議で検討して、審議会で議論の上策定されてしまえば、覆すことはできない。新たな施策が市民にメリットはあるが、デメリットの方が大きい場合、この市民検討会議や審議会で決定するものではないと思う。やはり、市民に周知し、しっかり意見を聞いて、市で判断するものだろうと思うが、それについてどう考えるか。

○事務局　新たな施策の検討について、個々の制度や法律に基づいているかを市の方でしっかり確認する必要があるが、市民検討会議の場において法律の議論までをお願いするのはハードルが高い部分があるので、市民の皆様が普段思われていることについて、率直に意見を出していただき、それを基に進めていければと考えている。

○メンバー　東京都から各課にエキスパート職員を育て、配置していただきたいと言われているので、お願いしたい。

○事務局　ご意見として承る。

○メンバー　市長の任期や政策と総合計画の計画期間が一致しないが、どのように考えるか。例えば、せっかく市民の声を集めて作った計画が、市長が代わったことで反故にされることもあり得るのか。

○事務局　本日お配りした第６次府中市総合計画後期基本計画の２２０ページの総合計画条例の記載があり、総合計画は市民の皆様と一緒につくり上げていくものと定められている。たしかに市長が代わることで政策転換することもないとは言えないが、基本的には策定した計画に則って施策を進めてい

くものと考えている。
○メンバー　いまの市長の任期はいつまでか。
○事務局　今年１月に市長選挙があったので、残任期は約３年半である。

○メンバー　第５次総合計画は計画期間が１２年間だったが、市長の任期が４年で計画期間が８年に変わった経緯がある。当時、他の個別計画も年数をできるだけ総合計画に合わせると言っていたが、現実は必ずしもそうなっていない。これから策定するものは、計画期間を４年なり８年に合わせてほしい。
○事務局　要望として承る。

○メンバー　いままでの総合計画に基づいてグループワークをしていくということだが、コロナウイルスの影響で大きく状況が変わりつつある中、どれほどこの影響を考慮してグループワークをすればよいか。
○事務局　市民の皆様の生活はもちろん行政面でも様々な影響があり、今後の見通しは分からないことが多いが、そのことだけに捉われると検討が難しくなるので、幅広く、短期的な視点と、中長期的な視点の双方を持って検討していただきたい。

○メンバー　本日は１部会を２グループに分けて話をしたが、２回目以降はどのような形になるか。
○ファシリテーター　今の小グループの形は、こういうやり方があるというのと、いきなり初対面の方１２人で話すのはどうしても話づらいと思ったので、一旦この形をとらせていただいた。この後のワークで、部会全体になってもらい、そこで部会ごとにワークの形を決めてもらいたい。

○メンバー　第６次当時の状況と現在の状況では、異常気象や感染症など、市を取り巻く状況がかなり様変わりしている。そういうものに対して、どのように取り組んでいけばよいか。あくまでも第６次の延長線上で考えるのか。
○事務局　いままでになかった事象も出てきて、今後、施策体系が変わってくる可能性もあるので、新しく取組が必要となるものについてもご意見をいただきたい。

質疑応答の後、部会全体でのグループワークとして、グループ内自己紹介やスケジュール設定に取り組んだ。

５　その他

⑴　委員謝礼に関する口座振替依頼書等の関係書類の提出をお願いした。

⑵　８月２１日号広報ふちゅうで市民検討会議設置について掲載すること、公募市民については、氏名と住所（〇〇町）が掲載されることについて了承を得た。

⑶　毎月第２・第４土曜日の休日開庁以外の開催日は、西側玄関のみが出入口となること、会議の際は車での参加は控えていただくことを連絡した。

⑷　次回の検討会議の日程については、令和２年９月５日（土）午前１０時から北庁舎３階第１・２・３会議室にて開催することを連絡した。

以上